



3月号 令和4年2月28日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町 6 9 4 番地 [Tel.911-0149]



GIGA スクール構想の中で大切にしたいこと ～学びの保障と知識・概念形成に向けた学びのプロセス～

校長 伊藤 智樹

令和3年度も残り1か月になりました。今年に入ってからのオミクロン株による急激な感染拡大の中、皆様もご心配されることが多いかと思えます。子どもたちは「感染対策」を意識した学校生活を送っていました。子どもたちは一人ひとり手洗いやマスクの着用、給食時のマナーなどを頑張っていました。本当ならもっと子どもらしく、話しながら楽しく給食を食べたいはずなのに・・・私は申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

今年度5月にiPad端末が本校に配備されてから10ヶ月が経ちました。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてオンラインを活用した授業や学習への必要性が高まったことから当初の計画より早めての導入でした。今年度はどの学年でもiPad端末を学習活動で活用しています。「個に応じた学びの保障」に向けて英語を含めたオンラインドリルも試行的に行っています。教科学習だけでなく行事やクラブ・委員会活動でも使っています。子どもが作成した文章も学級全体でその場で共有している姿を見て子どもたちのスキルに驚かされることもあります。iPad端末の主なメリットは以下の内容です。

- ①インターネット検索機能 ②映像を観察記録に取り込みやすい
- ③文章の推薦が容易 ④文章や資料の共有 ⑤学級閉鎖時の学びの保障等

その一方で調べ活動をしている学習の中には、インターネット上の多くの情報を選ぶこと

が難しかったり、ネット情報をそのまま「コピペ」をしたりすることもあります。「言葉としての知識」はあるが「意味としての知識」にまでは至らないケースです。

「今の〇〇さんの説明どうだった？ 分かったかな？」と教師が学級全体に投げかけることも重要です。「付け加えがある人は付け加えて説明してみて」と、子ども同士が考え合い、伝え合うことを促していくことが教師

の大きな役割です。「違う意見や考えも大丈夫だよ。一つの事実から人が感じることや、考えることはそれぞれ違うこともあるよ。」と授業を通して子どもたちに伝えていくことは大切な教師の役割です。これからの社会には正解は一つとは限りません。**最適解を子どもたち自身が説明したり、文章にまとめたりしながら見つけていくという学びのプロセスは知識習得や概念形成に重要だと言われています。**昨今の国・本市学習状況調査や高校入試などで記述式問題が出てくる背景にはこの学びのプロセスにあります。

自己を確立せねばならない。
 自分にきびしく、相手にはやさしく。という自己を。
 そして、すなおでかしい自己を。
 二十一世紀においては、特にそのことが重要である。
 二十一世紀にあつては、科学と技術がもっと発達するだろう。科学・技術が、こう水のように人間をのみこんでしまつてはならない。川の水を正しく流すように、君たちのしっかりした自己が、科学と技術を支配し、よい方向に持って行ってほしいのである。
 右において、私は「自己」ということをしきりに言った。自己といつても、自己中心におちいつてはならない。

『21世紀に生きる君たちへ』 司馬遼太郎著

左の文章は司馬遼太郎氏が小学校教科書のために書き下ろしたもののからの抜粋です。現代のようにICTの技術革新が進み、これからの時代を担う子どもたちに読んでもらいたい文章です。

今後の感染状況によって様々な対応が生じるかと思えます。引き続きメール等を活用してお知らせしたいと思います。子どもの安全を最優先にしながら卒業していく6年生とともに、令和3年度の総まとめをし、令和4年度を迎えたいと思えます。

今年度も、保護者や地域の皆様にはたいへんお世話になりありがとうございました。来年度も地域と共に歩み、保護者・地域の皆様から信頼される学校を目指し、教職員一丸となって努力を積み重ねて参ります。引き続き温かいご支援ご協力をよろしくお願ひします。

